



CSR REPORT

カンケンテクノCSRレポート

2025



CSR REPORT

2025 | INDEX

1	社長ごあいさつ	2
2	経営理念	3
3	マテリアリティ	4
4	当社事業紹介	5
5	組織体制・事業所一覧	7
6	カンケンテクノの歴史	9
7	数字で見るカンケンテクノ	11
8	環境への取組み	13
9	安全安心への取組み	15
10	品質への取組み	17
11	人材育成	18
12	ダイバーシティ・健康経営	19
13	地域貢献	21

ごあいさつ

代表取締役社長

今村 浩一



私たちカンケンテクノ株式会社は、1978年の創業以来、「大気環境保全装置」の開発・製造を通じて、持続可能な社会の実現に貢献してまいりました。

私たちの使命は、産業の発展と環境保全の両立を図り、よりクリーンで安心できる未来を築くことにあります。

「大気環境保全装置」は、半導体やテクノロジー産業において排出される有害ガスや、地球温暖化の要因となるPFCガスを無害化・分解する装置です。私たちは、排ガス除害装置事業、脱臭・VOC処理装置事業、ガスリサイクル装置事業の3つの柱を軸に、環境負荷の低減に取り組んでいます。特に、電気を活用した排ガス除害装置は、化石燃料に依存しないクリーンなソリューションとして、脱炭素社会の実現に貢献しています。

さて、2025年度を振り返りますと、アメリカは「パリ協定」から正式に再離脱しました。2025年11月のCOP30では、「脱化石燃料」に関する具体策や工程表の記述が合意文書から削除されました。またEUも、2035年以降のエンジン車販売を容認する方向へ政策を転換しています。これらの動向から、2025年はカーボンニュートラル政策の転換点であったと考えます。

そのような状況においても、生成AIの開発やDX推進等々に伴い、半導体市場は急速に拡大しました。このような追い風もあり、当社は国内外の半導体製造企業に除害装置を大量に納品することができ、創業以来累計24,000台出荷を達成しました。これらの業績がお客様に評価され、各種表彰をいただくことができました。また、オンサイト型電気式VOC処理装置が高く評価され、中小企業庁長官賞をいただくことができました。

2026年度は、更なる飛躍を求め、大胆な設備投資と企業体質改革にも注力してまいります。まず、2028年度までに京都本社工場ならびに熊本工場に新たな製造工場を増設し、生産能力の抜本的拡大と供給体制の強化を図ります。また、企業体質強化策の一環として、ISO45001(労働安全衛生マネジメントシステム)、ISO27001(情報セキュリティマネジメントシステム)の認証取得に向けプロジェクトを発足させました。これらのマネジメントシステムの運用を通じ、より安心・安全な職場環境の構築を推進してまいります。

社員一人ひとりが技術と誇りを持ち、企業価値の向上と社会貢献を両立させながら、世界中の人々が安心して深呼吸できる環境を目指してまいります。今後も、より良い社会の実現に向けて努力を重ねてまいりますので、引き続き、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

経営理念

MANAGEMENT PHILOSOPHY

環境技術革新への挑戦 ～地球と人々の笑顔のために～

MISSION

大気環境を改善、保全する為に、革新的な技術を創り出し、世界の人々が気持ちよく深呼吸できる社会を実現します。

VISION

弛まぬ技術革新と豊かな創造力で、未来の地球環境に貢献するグローバルトップ企業を目指します。

- 電気、再生エネルギーを活用した排ガス処理技術を追求した「省エネ・脱炭素社会」の実現
- 全世界どこにでも、高機能の製品を提供し、高品質のアフターサービスを展開
- ミッションを共有する仲間が、それぞれの個性を発揮し活躍できる企業

カンケンスピリット

KANKEN SPIRIT

カスタマーファースト(Customer first)

私たちは、常にお客様の目線で、お客様の満足を最優先に考え、行動します。

パートナーシップ(Partnership)

私たちは、取引先の皆様とお互いが発展できる信頼関係を築きます。

パッション(Passion)

私たちは、何事にも情熱を持って、地道にコツコツと努力し、最後まで逃げずにやり切ります。

チャレンジ(Challenge)

私たちは、敢えて困難な課題に立ち向かい、果敢に行動することによって、新しい価値を創造します。

イノベーション(Innovation)

私たちは、新しいアイデアと技術を積極的に採用し、継続的な改善と進化を目指します。

プロフェッショナリズム(Professionalism)

私たちは、高度な専門知識を身に着け、常にプロフェッショナルとして行動します。

セーフティー(Safety)

私たちは、何があんでも絶対安全!の精神で行動します。

インテグリティ(Integrity)

私たちは、社会のルール・規範・倫理を重んじ、誠実に、真摯に行動します。

ワンチーム(One team)

私たちは、お互いを尊重し認め合い、チームの力で共創します。

アットホーム(At home)

私たちは、風通しの良い、活気あふれる職場づくりに努めます。

コーポレートシチズンシップ (Corporate citizenship)

私たちは、積極的に地域社会の発展に貢献します。

マテリアリティ (2025～)

MATERIALITY

気候変動への 対応

当社にとって重要である理由

世界的な課題である気候変動に対し、大気環境保全装置メーカーの当社としては当然の使命です。世界中の人々が安心して深呼吸できる地球環境を目指して参ります。

目 標

- より省エネルギー・高効率な除害装置の開発・製造
- GHG 排出量削減、SBT 認証取得を視野に入れた取組み強化

リスク マネジメント 強化

当社にとって重要である理由

複雑化・多様化する事業リスクに対し、安心・安全な職場づくりとレジリエンス力の向上を基盤としたリスクマネジメントを徹底し、持続的な企業価値の向上を目指します。

目 標

- 安全衛生推進
- 情報セキュリティ強化
- レジリエンス力強化による事業継続力向上

品質向上

当社にとって重要である理由

品質は信頼の証であり、企業の社会的責任の根幹です。安心・安全な製品・サービスを提供し、企業価値の維持・向上を図ります。

目 標

- 市場不具合率低減
- 納期遅延対策の徹底
- 顧客満足度向上

人的資本開発と ダイバーシティ 推進

当社にとって重要である理由

従業員の多様性とエンゲージメントを高めることは組織の活性化につながります。また、従業員の健康に対する投資は企業の長期的成長の基盤の1つとなります。

目 標

- 従業員エンゲージメントの向上
- 健康経営の強化推進
- 人材育成、能力開発

地域貢献

当社にとって重要である理由

地域社会との共生・発展は、企業の持続可能な経営と社会的責任を両立させることに繋がります。

目 標

- 地域イベントへの積極的参加
- 地域防災への積極的支援など

当社事業紹介

OUR BUSINESS

環境技術で、 半導体産業と脱炭素社会の両立に貢献

当社は「環境技術革新への挑戦」を掲げ、半導体製造プロセスで発生する温室効果ガスや有害物質の処理を担う大気環境保存装置を提供しています。環境負荷低減と産業発展の両立を実現するソリューションを通じて、持続可能な社会の実現に貢献しています。

当社は、半導体製造工場等で発生する排ガスの除害装置を中心に、設計・製造・販売・メンテナンスまで一貫した事業を展開しています。主力製品である排ガス除害装置は、独自の電気式熱分解方式により、高効率・安全性・省エネルギーを実現しています。

世界の半導体市場は、世界半導体貿易統計 (WSTS) によると、2027 年までに 2 兆ドル規模へ拡大すると予測されており、各国で設備投資が加速しています。一方でカーボンニュートラルへの対応も求められており、当社製品の重要性はますます高まっています。

当社の排ガス除害装置は世界シェア約 20% を有し、トップクラスの実績を誇ります。化石燃料を使用せず、電気ヒータやプラズマにより排ガスを加熱分解することで、CO₂ を排出しない点が特長です。

また、VOC (揮発性有機化合物) 処理装置においても、熱分解・吸着・水処理など多様な方式により、顧客ニーズに応じた最適なソリューションを提供しています。

さらに、第三の事業としてガスリサイクル装置事業を展開し、ネオン、ヘリウム、アルゴン等の希ガスの回収・再利用を実現しています。特に、エキシマレーザー用ネオンガスを 90% 以上回収可能な装置を開発し、省エネルギー分野において高い評価を受けています。

当社は今後も、半導体産業の発展と環境負荷低減の両立に向け、環境保全装置のプラットフォーマーとして持続可能な社会の実現に貢献してまいります。



カンケンテクノは低炭素社会を実現します

排ガス除害装置

半導体、FPD (フラットパネルディスプレイ)、PV (太陽光発電システム) などの製造過程で排出される様々なガスを分解・無害化する除害装置です。当社独自の技術によって極めて少ないエネルギーで効率良く分解することが可能で、環境負荷の少ない除害装置です。



脱臭・VOC処理装置

印刷、塗装などで使用されるVOC (有機溶剤など) ガスや、食品工場など様々な工場で排出されるガスの分解・脱臭を行う装置です。独自の濃縮技術により高効率・省エネでの処理が可能です。



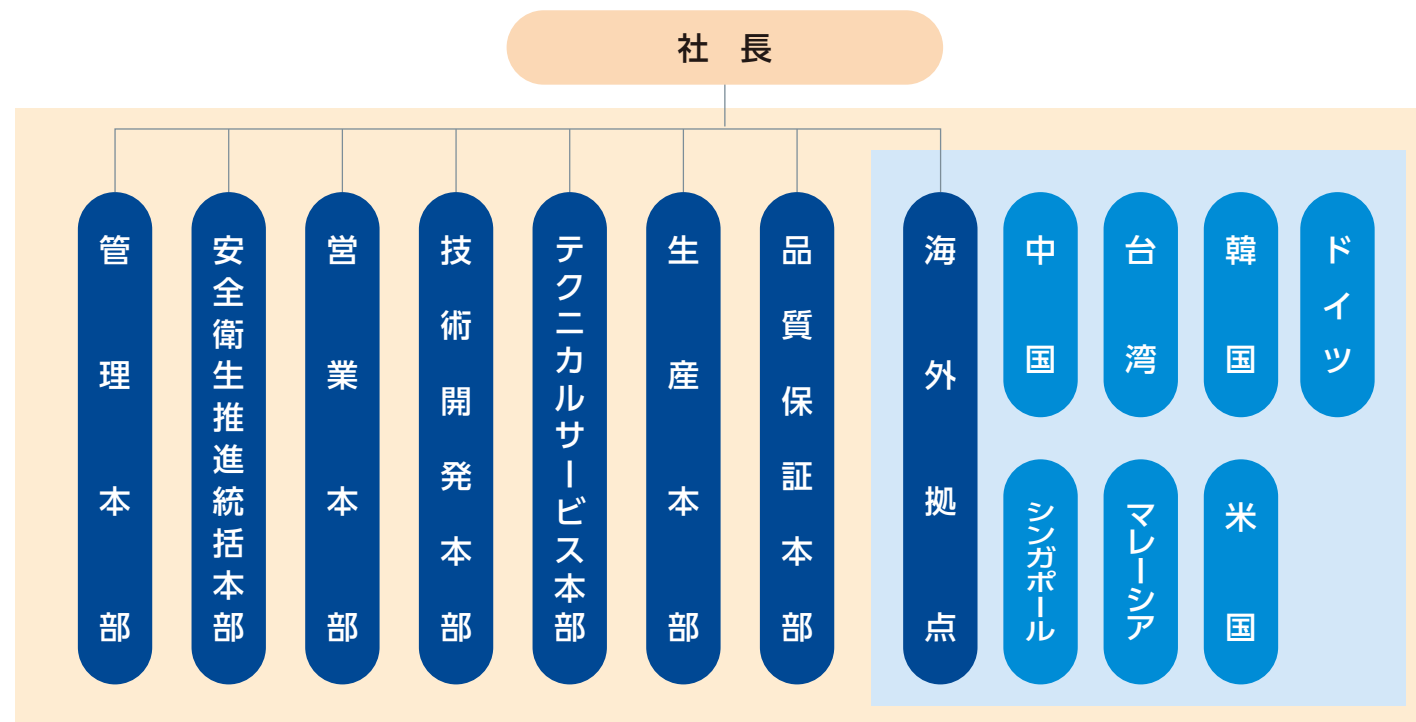
ガスリサイクル装置

半導体製造の重要工程であるフォトリソグラフィ (露光) 工程で使用するNe (ネオン) などの高価な希ガスを生成・リサイクルする装置です。レーザー発振後の不純物を含んだガスを使用前のガスと同じ純度まで生成することができます。



組織体制・事業所一覧

ORGANIZATIONAL STRUCTURE & BUSINESS FACILITIES



2025年度 省エネルギー大賞 製品・ビジネスモデル部門

世界初! オンサイト型電気式VOC処理装置
【中小企業庁長官賞】受賞



オンサイト型電気式 VOC 処理装置

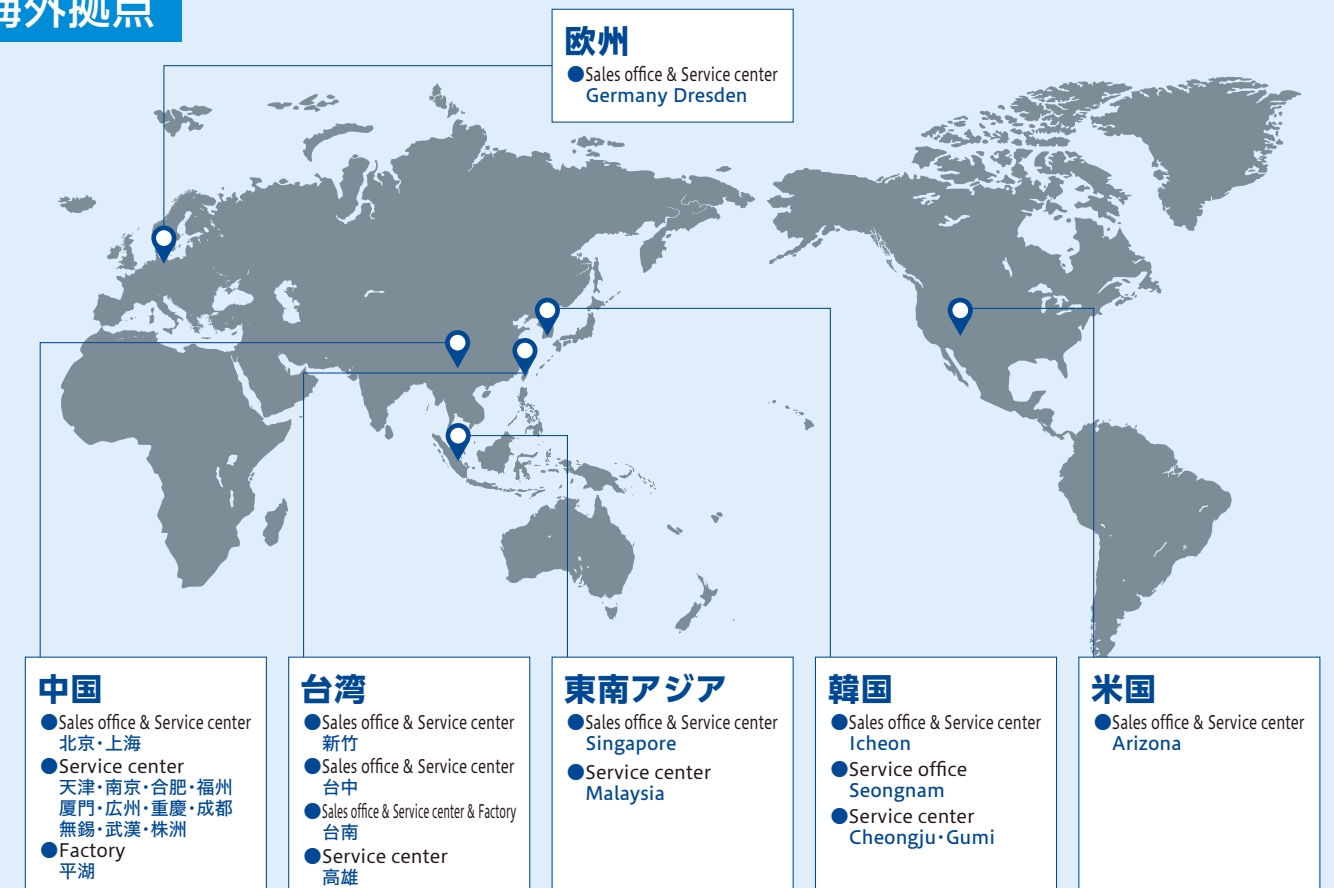
- 電気のみで VOC ガスを無害化
- 小型で高い省エネと低い初期コスト
- 触媒を使用しない低ランニングコスト



国内拠点



海外拠点



カンケンテクノの歴史

HISTORY

未来を創造するカンケンテクノ



大阪府吹田市において
関西研熱工業
株式会社
として創業



創業当時



R&Dセンター



向日工場



カンケンテクノUSA



熊本工場



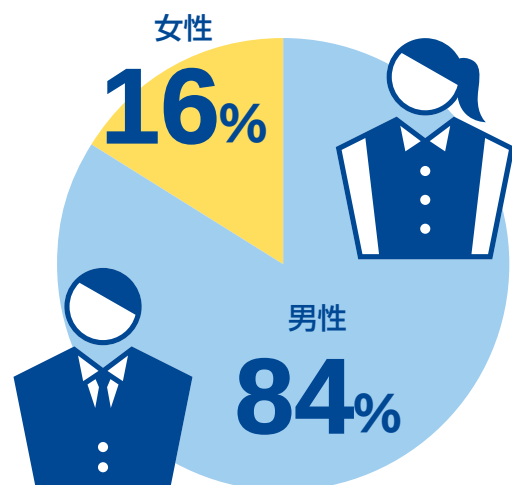
物流センター

数字で見るカンケンテクノ

DATABASE

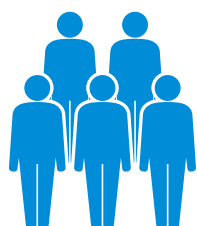
従業員数 & 男女比
(2026年4月1日時点)

754名



社員の平均年齢
(2026年4月1日時点)

41.8歳



平均有給休暇
取得日数
(2025年度)

13.2日



産休育休
取得率
(2025年度)

男性 85% (4件)
女性 100% (8件)



月平均所定外労働時間
(2025年度)

15.7
時間



社員の平均勤続年数
(2026年4月1日時点)

7.6年

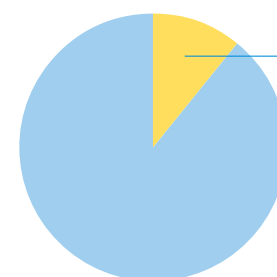


女性の管理職比率と人数
女性の役員比率と人数
(2026年4月1日時点)

管理職
4.5% (6名)



役員
12.5% (1名)



資本金

9,000
万円



国内外の拠点数
(2026年4月1日時点)

国内

31拠点

海外

43拠点



熊本工場



USAアリゾナオフィス

新卒・中途採用
比率
(2025年度)

新卒 9%
中途 91%



40歳以上の
中途入社社員数
(2025年度)

採用
30名



外国人の従業員数
(2025年度)

35名



離職率
(2025年度)

6.6%



国内の受注件数
(2025年度)

357件



海外納入国
(2025年度)

台湾
中国
シンガポール
マレーシア
韓国
USA
ドイツ

シェア

国内 No.1
世界 No.2



環境への取り組み

ENVIRONMENTAL

環境に配慮した除害装置

当社は長年培ってきた独自で高度な熱のハンドリング技術を持ち、またこれまで多く使われてきた化石燃料を大量に使用する除害方式ではなく、電気ヒータ、プラズマなどの電気式除害装置技術を持っています。

ガス分解で使用した熱の外部への放熱を極限まで抑えることで高い効率を実現するとともに、製造工程で排出されるガスの量や種類などを詳細にモニタリングし除害処理条件を調整することで必要なタイミングにおいて最低限のエネルギーにより除害することが可能です。

また、分解率に関しても、世界的な基準である IPCC（気候変動に関する政府間パネル（Intergovernmental Panel on Climate Change））のデフォルト値を達成するだけでなくお客様が独自に求められる厳しい基準も完全にクリアしています。

省エネルギー、高効率、電気式除害によってお客様の工場で排出される CO2 量の大幅削減に貢献します。

化学物質の管理

当社では、化学物質や危険物等の取扱いについて「化学物質管理規程」を制定し、購入・貯蔵・使用・廃棄に至るまで環境を汚染することのないよう十分に配慮し、安全・適正に管理しています。

当社で取扱う化学物質については、リスクアセスメントの実施を徹底し、潜在的な危険性を事前に評価した上で、必要な予防措置を講じています。さらに、化学物質の使用に関わる全従業員に対して、定期的な教育と訓練を行い、適切な取り扱い方法や緊急時の対応策を周知徹底しています。

また、廃棄に際しては、環境への影響を最小限に抑えるため、法規制を遵守するとともに、再利用やリサイクルの推進にも積極的に取り組んでいます。

これらの取り組みを通じて、当社は化学物質管理の徹底を図り、環境保護と従業員の安全確保に努めています。

ISO14001

当社は ISO14001 基準に則り、環境保全に向けた基盤づくりを進めています。大規模な設備投資や先進的な取り組みにはまだ至っていないものの、できることから一歩ずつ着実に改善を積み重ねることを方針としています。

まず、社内では環境方針を明文化し、全社員に対してその内容を周知しています。また、環境関連法令や規制の遵守を徹底するため、社内ルールの整備と点検を行い、必要に応じて見直しも実施しています。

日常業務においても、省資源・省エネルギーを意識した取り組みを推奨しており、例えば照明や空調の適切な使用、ペーパーレス化の推進など、小さな改善を積み重ねています。これらの活動は、環境負荷の低減だけでなく、社員一人ひとりの意識改革にもつながっており、持続可能な社会の実現に向けた足がかりと考えています。

今後も、ISO14001 の考え方を日々の業務に取り入れながら、環境との調和を意識した企業活動を継続してまいります。

産業廃棄物削減の取り組み

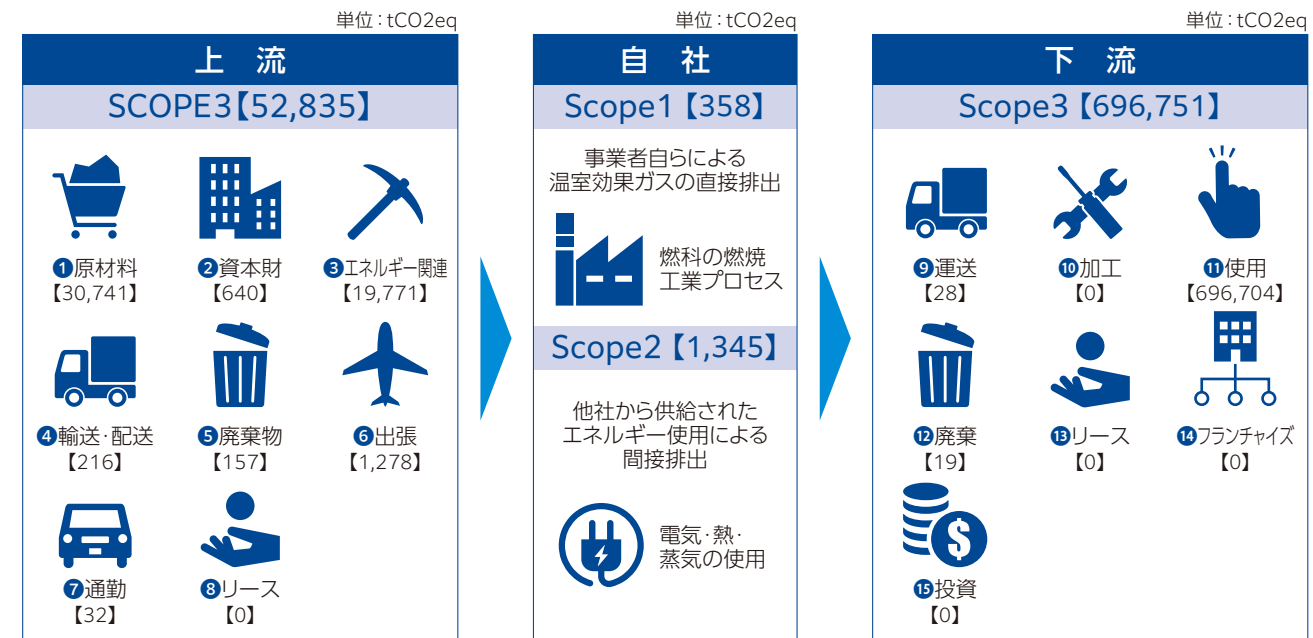
当社では、事業活動における環境負荷の低減を目指し、廃棄物の削減および適切な分別・処理に努めています。特別な設備や大規模な施策は行っていないものの、日常業務の中で社員一人ひとりが意識を持って取り組むことを重視しています。

具体的には、コピー用紙の使用量を削減するための両面印刷や電子化の推進、使用済み文具や備品の再利用、不要物の発生を抑える発注・在庫管理の工夫など、身近なところから改善を積み重ねています。また、ゴミの分別についてもルールを整備し、回収業者とも連携しながら適切な処理が行われるよう体制を整えています。

これらの取り組みは小規模ではありますが、廃棄物の減量と再資源化の第一歩として、社員の環境意識向上にもつながっています。今後も、日々の業務の中で無駄を見直し、より持続可能な事業運営を目指して取り組みを継続していきます。

GHGプロトコルにおけるサプライチェーン排出量

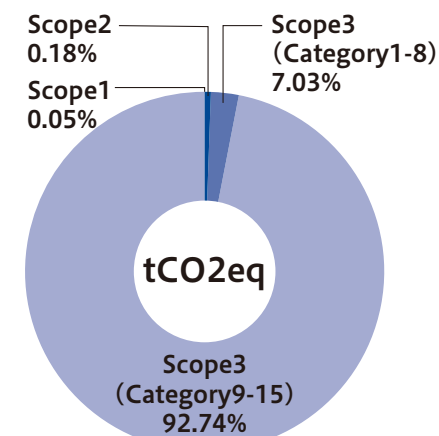
温室効果ガス排出量の算出・報告は「GHG プロトコル」に基づいています。自社の直接排出・間接排出を計上する範囲（Scope1・2）と、自社の商品・サービスに関連した他社の排出を計上する範囲（Scope3）が存在します。



カーボンニュートラル社会に向けた取り組み

当社は、持続可能な社会の実現に貢献するため、温室効果ガス排出量の把握と削減に取り組んでいます。気候変動への対応は企業の重要な責任のひとつであると認識し、2024 年度より、Scope1（自社による直接排出）、Scope2（他社から供給された電力等に伴う間接排出）、Scope3（自社の活動に関連するその他の間接排出）を対象とした温室効果ガス排出量の算定を実施しました。

Scope3 を含む広範なサプライチェーン全体での排出量の可視化により、より効果的な削減施策の検討・推進を進めています。今後も省エネルギーの推進、再生可能エネルギーの導入、サプライヤーとの連携強化などを通じて、カーボンニュートラルの実現に向けた取り組みを加速してまいります。



SBT認証に向けて

当社は、除害装置のグローバルトップ企業としての責務を果たすべく、SBT（Science Based Targets）認証の取得を目指しています。

①環境保全への貢献

パリ協定に整合する温室効果ガス排出削減目標を設定・実行し、地球温暖化対策に貢献してまいります。

②企業価値の向上

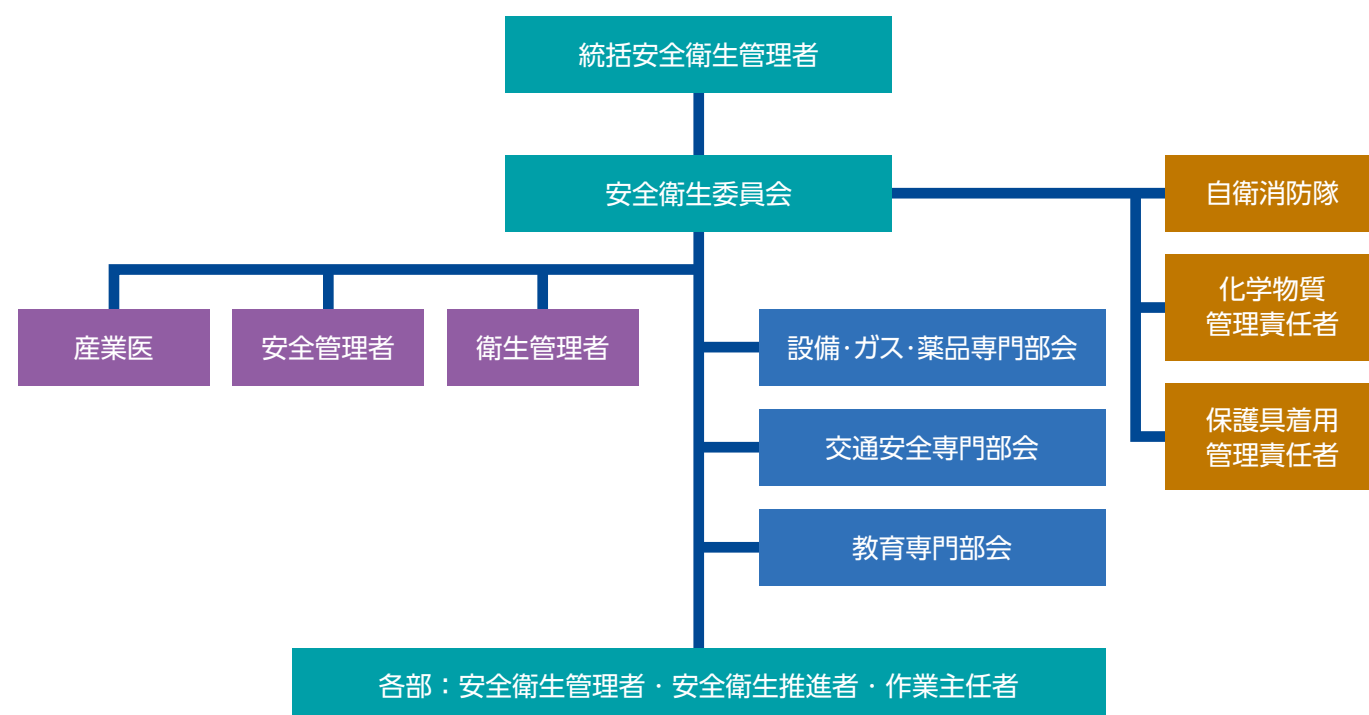
SBT 認証の取得により、すべてのステークホルダーからの信頼を獲得し、企業価値の向上を図ってまいります。

安全安心への取り組み

SAFETY & SECURITY

安全・安心な職場環境への取り組み

当社は労働安全衛生法に則り、下図のとおり体制を構築し安全衛生管理を行っています。



当社は、労働安全衛生法に基づき、安全衛生管理体制を構築し、全社的な安全衛生活動を推進しています。

安全衛生委員会を毎月開催するとともに、年 2 回の安全大会を実施し、部門横断での情報共有と意識向上を図っています。安全衛生委員会では、安全衛生活動の進捗および成果を共有し、労働災害の防止、従業員の健康保持・増進、職場環境の改善に向けた課題の抽出と対策の検討を行っています。安全大会においては、各部門の取り組みを総括するとともに、優れた活動を表彰することで、安全意識の向上を促進しています。

主な取り組みは以下のとおりです。

●安全巡視

工場内における KY（危険予知）活動の実施に加え、部門間で相互に職場巡視を行い、潜在的な危険箇所および不安全行動の把握と是正に取り組んでいます。

●安全衛生教育

雇入れ時および配置転換時の教育に加え、階層別・分野別の教育体系に基づく継続的な教育を実施しています。

また、職長教育を通じて現場管理者の安全管理能力の向上を図っています。

●作業手順の改善

作業標準の見直しやリスク低減措置の導入により、安全性と作業効率の両立を推進しています。

さらに当社は、労働安全衛生マネジメントシステムの国際規格である ISO 45001 の認証取得に向けた取り組みを推進しており、2027 年中の取得を目指しています。現在、各種規程の整備、危険源の特定およびリスクアセスメントの実施を進めており、これらの活動を通じて、より安全で安心して働ける職場環境の構築を図っています。

当社は今後も、安全衛生水準の継続的な向上を通じて、従業員一人ひとりが安心して働ける職場づくりに取り組んでまいります。

事業継続(Business Continuity)

当社は、いかなる状況下においても顧客への製品・サービスの提供を継続するとともに、従業員の雇用を守ることを目的として、事業継続計画（BCP）を策定・運用しています。

BCP の実効性向上を図るため、毎年リスク分析およびビジネスインパクト分析（BIA）を実施し、その結果を踏まえた机上演習を継続的にを行っています。演習では、想定シナリオに基づく議論を通じて課題を抽出し、改善施策の検討と共有を行うことで、事業リスクへの対応力強化に取り組んでいます。

当社は 2021 年、内閣官房 国土強靱化推進室が創設した「国土強靱化貢献団体認証（レジリエンス認証）」を取得しました。さらに 2025 年には「事業継続・社会貢献」区分で認証を更新しています。これは、長岡京市社会福祉協議会様との防災パートナーシップ協定の締結や、熊本工場が所在する玉名市様の地域構想に賛同し、地域防災拠点化の取り組みを推進してきたことが評価されたものです。特に熊本工場での取り組みが評価され、ジャパン・レジリエンス・アワード 2025 において最優秀賞の受賞にもつながりました。

また、防災対策として、非常事態発生時の行動マニュアルの整備、安否確認システムを用いた安否確認訓練の実施、全工場および開発・研究棟、物流倉庫における総合防災訓練を毎年実施しています。

さらに、大地震発生時の行動基準や事前準備をまとめた「大地震カード」を全従業員に配布するとともに、社内に設置している自動販売機には防災対応機能を備え、災害時には無償で飲料を提供できる体制を整えています。

当社は今後も、事業継続体制の強化と地域社会との共生を両立し、企業としてのレジリエンス力向上に取り組んでまいります。



情報セキュリティ強化への取り組み

当社は、企業機密情報および個人情報等を適切に保護し、情報漏えいならびにサイバー攻撃等の情報セキュリティインシデントを未然に防止することを目的として、情報セキュリティ委員会を設置しています。

同委員会は、情報セキュリティ方針および関連規程・ルールの方針策定・改定を担うとともに、全社への周知徹底と遵守状況の確認を行い、情報セキュリティ管理体制の強化を推進しています。

また、従業員に対しては、入社時および昇格時の階層別教育に加え、定期的な情報セキュリティルール理解度テストや標的型攻撃メール訓練を実施し、人的リスクの低減に努めています。

さらに、情報セキュリティ対策の自己宣言制度である情報処理推進機構（IPA）の「SECURITY ACTION」において二つ星を宣言し、情報セキュリティ基本方針の策定および外部公開等を通じて、対外的にもセキュリティ対策への取り組みを明確にしています。

さらに当社は、情報セキュリティマネジメント体制の一層の高度化を目的として、ISO/IEC 27001 の認証取得に向けたプロジェクトを開始しており、2026 年度中の認証取得を目指しています。

当社は今後も、技術的対策と人的対策の両面から情報セキュリティ水準の継続的な向上を図るとともに、国際標準に準拠した管理体制の構築を推進してまいります。



セキュリティ対策自己宣言

品質への取り組み

QUALITY

品質へのこだわり

私たちは「品質は信頼の証であり、企業の社会的責任の根幹である」と考えています。創業以来、品質へのこだわりを企業活動の中心に据え、お客様に安心と満足をお届けすることを使命としてきました。

品質保証部門を中心とした社内体制に加え、国際的な品質マネジメントシステムであるISO9001認証を取得し、製品やサービスの品質維持・向上に努めています。さらに、「品質会議」を通じて、各部門が連携しながら品質課題を共有し、迅速な対応と継続的改善を図っています。

私たちの製品は、特に半導体やテクノロジー産業の現場で発生する有害ガス、たとえば地球温暖化の一因となるPFC（パーフルオロカーボン）ガスなどを無害化・分解するための環境対応型装置です。

製品の「性能」だけでなく、「環境へのやさしさ」も品質の一部ととらえ、厳格な評価基準のもとで開発・製造を行っています。



また、お客様からのご意見やご要望を真摯に受け止める体制を整え、アンケートやフィードバックをもとにした改善活動を積極的に進めています。こうした取り組みによって、「品質のつくりこみ」と「持続可能な社会の実現」の両立を目指しています。

今後も、技術革新に伴う新たなニーズや課題に柔軟に対応しながら、品質を通じて社会に信頼と価値を提供し続けてまいります。



登録事業所

- 本社・本社工場
- R&Dセンター
- プラント事業所
- 物流センター
- 向日工場
- 熊本工場

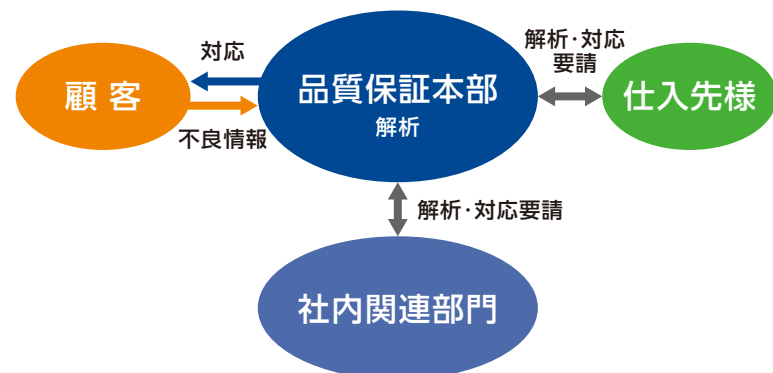
品質改善への取り組み

市場品質改善への取り組みとして、市場品質を常に監視し不具合発生時は情報・現物を入手し解析・原因究明を行い発生・流出を繰り返さない対応を社内関係部門へ要請し顧客への対応を行います。

買入れ部品が起因の不良の場合、仕入先様と連携し原因の究明および市場対応を行います。

社内に対しては全部門が参加する品質会議を毎月開催し全社に対して市場における当社品質状況と改善すべき事項を明らかにしています。

また市場の品質情報は発生の都度、サービス部門より不具合報告書で報告され、この報告書に基づきレビュー会を定例開催し関連部門と根本原因の討議を行い再発防止に取り組んでいます。



人材育成

HUMAN RESOURCE DEVELOPMENT

社員の成長と挑戦を支える人事制度へ

当社では、持続的な成長と「グローバルNo.1」に向けた挑戦を支える組織基盤の構築を目的として、2025年4月に人事制度を改定しました。本制度では、多様な人材が能力を最大限に発揮できる環境を整備し、社員一人ひとりの成長と組織の競争力向上を目指しています。

新たな人事制度では、社員の成果や行動に加え、当社の価値観である「カンケンスピリット」の実践を評価項目に取り入れています。価値観の体現を促進することで、活躍する人材の育成と、将来求められる人材像の実現につなげています。

制度運用は2年目を迎え、運用状況や社員の声を踏まえた継続的な改善により、評価への納得感と成長実感の向上に取り組んでいます。また、タレントマネジメントシステムの導入を進め、人材情報の可視化や適材適所の配置、計画的な人材育成を実現する基盤を整備しています。

今後も、人事制度と人材マネジメントの高度化を通じて、社員と組織がともに成長し、企業価値の向上につながる人材基盤の構築を推進してまいります。

学び続ける組織づくり

当社では、社員一人ひとりの成長が企業の持続的な成長と競争力の向上を支える原動力であるとの考えのもと、体系的な教育・人材育成体制を整備しています。新入社員フォロー研修や階層別研修を通じて、それぞれのキャリアステージに応じた知識やスキルの習得を支援するとともに、ハラスメント防止研修やコンプライアンス・モラル研修を継続的に実施し、専門性に加えて高い倫理観や組織人としての意識醸成にも取り組んでいます。

また、メンター制度の運用やeラーニングの活用により、自律的かつ継続的に学べる環境を整備しています。さらに、教育訓練計画制度や博士課程進学支援制度を通じて高度専門人材の育成を推進し、社員の能力開発とキャリア形成を支援するとともに、組織全体の技術力・研究開発力の向上につなげています。

■教育訓練計画制度 2025年度申請件数：343件

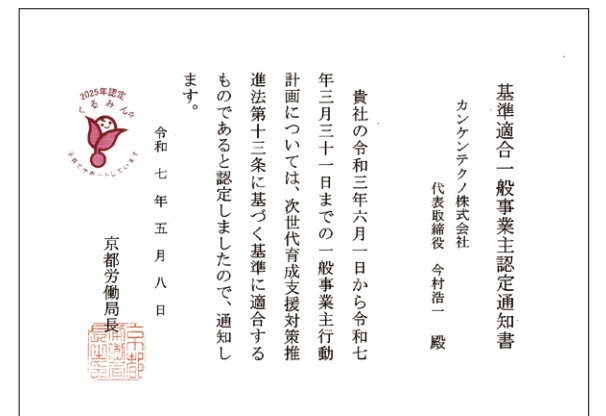
資格取得一覧 ※一部抜粋
エネルギー管理士
電気工事士
危険物取扱者
高圧ガス製造保安責任者
環境計量士
品質管理検定
機械保全技能士
TOEICテスト

次世代育成支援とプラチナくるみ認定への挑戦

当社は、子育てサポート企業として「くるみ認定」を取得しており、社員が仕事と育児を両立しながら安心して働き続けられる環境づくりを推進しています。

男性社員の育児休業取得促進に向けて、対象者への制度説明や個別フォローを実施し、育児休業を取得しやすい職場風土の醸成に取り組んでいます。また、時差出勤制度の活用拡大など、多様な働き方を支援する制度の充実を図っています。

今後は、より高い水準での両立支援の実現を目指し、「プラチナくるみ認定」の取得に向けた取り組みを推進してまいります。



ダイバーシティ・健康経営

DIVERSITY・HEALTH & PRODUCTIVITY MANAGEMENT

ダイバーシティ

当社では、年齢、性別、国籍、障がいの有無などにかかわらず、多様な人材が能力や個性を発揮できる職場づくりを推進しています。一人ひとりの価値観や経験を尊重し、誰もが安心して働き、成長できる環境を整備することで、持続的な企業価値の向上を目指しています。高齢者雇用では、定年後再雇用制度を通じて、豊富な知識や経験を有する社員が引き続き活躍できる環境を整え、技術・技能の継承につなげています。また、障がい者雇用を推進し、障害者雇用促進法に基づく法定雇用率を達成するとともに、働きやすい職場環境の整備を進めています。

さらに、グローバル化に対応した外国籍人材の採用・育成にも取り組んでおり、複数の国・地域出身の社員が活躍しています。多様な視点や価値観は、新たな発想やイノベーションの創出、組織の活性化につながっています。また、社員同士が互いを尊重し合う企業文化の醸成を目的として、社内呼称の統一などの取り組みも推進しています。今後も、多様な人材がいきいきと活躍できる組織づくりを進めてまいります。

インド出身社員が語るカンケンテクノで働く魅力

- 所 属：技術開発本部 電気設計部
- 出身国：インド
- 氏 名：パートクリシュナ クマール クルティンさん

Q1.日本で働こうと思ったきっかけを教えてください。

日本の高い技術力や品質へのこだわりを感じ、エンジニアとして成長したいと思ったことがきっかけです。また、日本ならではの文化や働き方を学びながら国際的な経験を積み、自分の視野を広げたいと考え、日本で働くことを決意しました。

Q2.カンケンテクノへ入社した理由を教えてください。

就職活動中にカンケンテクノを知り、環境保全に貢献する事業内容に強く魅力を感じました。社会課題の解決に貢献できる製品づくりに携わりながら、自身も技術者として成長できる環境だと感じ、入社を決めました。

Q3.現在の仕事内容と、仕事のやりがいを教えてください。

現在は電気回路設計エンジニアとして、海外向け排ガス除害装置の回路設計やソフトウェア作成を担当しています。設計には正確性や課題解決力が求められますが、自分が携わった製品が形となり、お客様に役立つことに大きなやりがいを感じています。

Q4.実際に働いてみて感じる職場の魅力を教えてください。

品質を大切に作る文化と、部署を越えて協力し合える職場環境が魅力です。設計内容は丁寧にレビューされ、多くの学びを得ることができます。また、困ったときには周囲がサポートしてくれるため、安心して仕事に取り組むことができます。

Q5.今後挑戦したいことや目標を教えてください。

今後は電気回路設計の知識や技術をさらに高め、高品質で信頼性の高い製品づくりに貢献したいと考えています。また、日本語力の向上にも取り組み、国内外のメンバーと円滑に連携できるエンジニアへ成長していきたいです。



健康経営への取り組み

1. 健康経営で解決したい経営上の課題

当社は、「大気環境を改善・保全するために革新的な技術を創り出し、世界の人々が気持ちよく深呼吸できる社会の実現」を目指しています。その原動力は、当社で働く社員一人ひとりです。

社員の心身の健康を尊重し、イキイキと働ける職場環境を整えることで、笑顔と活力にあふれる組織風土を育み、イノベーションの創出につなげていきたいと考えています。こうした取り組みを通じて、未来環境への課題解決と持続的な企業成長を実現していくことが、当社の経営上の課題となります。

2. 期待する効果と健康経営全体の目標指標について

健康経営の推進を通じて、育まれた健康で笑顔と活力にあふれる社員がパフォーマンス(生産性・創造力)を最大限発揮できる会社であることが必要なため、健康経営全体の目標を社員のパフォーマンス向上とし、アブゼンティズム、プレゼンティズム、ワーク・エンゲイジメントを最終的な健康経営の目標指標と定めています。

3. 健康増進施策

当社では、社員一人ひとりの心身の健康が持続的な企業成長の基盤であるとの考えのもと、健康維持・増進を支援するさまざまな健康経営施策を推進しています。ウォーキングイベントの開催や健康相談窓口の設置、海外赴任者向け総合医療サービスの提供に加え、部活動支援制度を通じて、社員が主体的に健康づくりに取り組める環境を整備しています。

健康意識の向上と生活習慣の改善を目的として、運動や睡眠などをテーマとした健康セミナーを開催しているほか、InBody(体成分分析)、血管年齢測定、酸素飽和度測定、握力測定などの体力測定を実施し、自身の健康状態を把握できる機会を提供しています。また、栄養バランスに配慮したお弁当配達システムを導入し、日々の食生活の改善も支援しています。

さらに、多様なライフステージに寄り添った支援として、妊活・不妊治療や婦人科に関する相談窓口を設置するとともに、健康診断では女性特有の検査項目にかかる費用の一部を会社が補助するなど、安心して働き続けられる職場環境づくりに取り組んでいます。

今後も、社員一人ひとりが心身ともに健康でいきいきと働ける環境の整備を進めることで、健康経営のさらなる推進と組織全体の活力向上につなげてまいります。

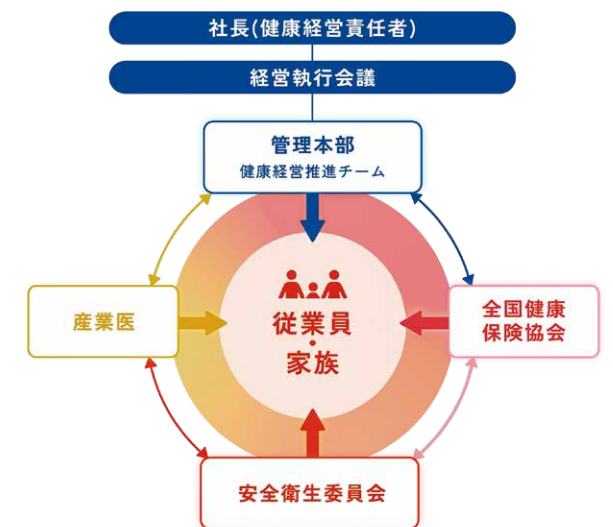
4. 健康経営優良法人認定

社員の健康保持・増進に向けた継続的な取り組みが評価され、2026年には「健康経営優良法人」の認定を取得しました。今後も、社員が心身ともに健康でいきいきと働ける職場環境づくりを推進してまいります。

■詳しい活動はこちらから

当社のCSR活動・健康経営・人材育成に関する取り組みについては、コーポレートサイトでもご紹介しています。ぜひご覧ください。

活動取り組みの詳細はコチラ ※掲載ページにジャンプ



睡眠セミナーの様子



地域貢献

CONNECTION

官民連携による地域創生防災モデルの取組み

熊本県玉名市にあります当社熊本工場は2023年に竣工いたしました。本工場は、廃校となった小学校跡地に建設しました。本工場は地域社会に新たな雇用創出と経済波及効果をもたらすと共に、自然環境の保全と災害に強い地域づくりの拠点としての機能を果たして参ります。

この度、玉名市様の助言で本工場を避難所同等施設に整備し、同工場で働く従業員の中から防災士資格を取得させ、地域防災教育等を実施いたしました。また、玉名市最大のお祭りである「玉名市大俵まつり」に防災啓発ブースを出展し、市民の皆様とともに防災意識向上の



取組みを行いました。

このように官民連携の取組みが評価され、2年連続で「ジャパン・レジリエンス・アワード」において最優秀賞を受賞いたしました。

日本緑化センター会長賞を受賞 熊本工場

当社は、2026年1月に東京で開催された「第44回 工場緑化推進全国大会」において、「一般社団法人日本緑化センター会長賞」を受賞しました。

これは、工場立地と周辺地域の生活環境の調和という工場立地法 の精神を踏まえ、工場緑化を積極的に推進し、工場内外の環境向上に功績あった企業(工場)等を表彰されるもので、今年初めて当社熊本工場が表彰されました。

当社はこれからも人と自然にやさしい環境のまちづくりを推進する玉名市様の方針に沿って地元地域の環境整備に貢献してまいります。



くまもと半導体グリーンイノベーション協議会参加

当社は、2026年1月に開催されたくまもと半導体グリーンイノベーション協議会総会に参加、その後開催されたセミコン台湾2025学生交流プログラム実施報告会において、講演を行いました。将来、半導体業界を目指す学生の皆さんと有意義な時間を過ごすことができました。

地域清掃活動

●地元河川「小畑川」清掃活動への参加

毎年7月に長岡第九小校区ふるさとコミュニティ協議会様主催で行われる「小畑川クリーン作戦」に参加しました。

この清掃活動は本社がある長岡京市を流れる小畑川を自治会、各企業・団体、行政が一体となって行う環境整備活動です。当社はこれからもこのような地域活性のための活動に積極的に参加してまいります。



●当社は地域社会の一員として、地域の環境美化に貢献することを目的に、月2回、当社社屋の周辺道路にて清掃活動を実施しています。

この清掃活動は社員が自主的に参加しており、落ち葉やゴミの回収だけでなく、側溝の点検なども行っています。この活動は就業前の時間を利用して実施しており、近隣住民の方々とあいさつを交わしながら地域とのつながりを深めています。今後もきれいで住みよいまちづくりに貢献してまいります。



当社は京都サンガF.C.の
ゴールドスポンサーとして、
地元京都のさらなる発展と
地域活性化を目指し、
スポーツを通じた応援・支援を
行っています。



©KYOTO P.S.



本 社

〒617-0833 京都府長岡京市神足太田30-2

■本 社 代 表

tel 075-955-8823

fax 075-955-8910

■国内営業部(代表)

tel 075-955-8825

fax 075-955-8915

■海外営業部(代表)

tel 075-955-8826

fax 075-955-8915

電車でお越しの方

JR京都線 長岡京駅下車徒歩15分

お車でお越しの方

名神高速大山崎IC出て、
国道171線 京都方面へ3分

